



笑顔・挑戦・誇り 学校有用感あふれる新堀翔楽光(しょうがっこう)

新堀小だより

9月号

令和8年9月1日発行

校長 川南 真一



新堀小 HP

よい競い合い

【新しい学期のスタートに期待を込めて】

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。長期休業期間中の子供たちの見守りにご協力いただき、心より感謝申し上げます。

朝から立哨指導のため校門前に立っていると、笑顔いっぱいに挨拶をしたり、自ら近くに駆け寄ってきて「おはようございます」と声をかけてくれたりする子供たちの姿に出会うことができ、ほっとしています。夏休みの終わりが近づくにつれ、気持ちを切り替える難しさも感じていましたが、目を輝かせて登校してくる子供たちの姿にふれ、私自身も新たな気持ちで2学期をスタートすることができました。学校の主役である子供たちが戻ってきたことで、これから学校は一層活気づいていくことと思います。2学期も、子供たちの頑張りがとても楽しみです。

今年の夏は、夏休みに入った途端、全国的に今年から設定された「酷暑日」が見られるなど、災害級の暑さが続きました。連日発表される熱中症警戒アラートに、暑さの厳しさをあらためて実感したところでした。日差しも強く、健康管理の難しい日々でした。加えて、7月下旬の熊本県における震度7の地震、8月の台風15号、その後の集中豪雨の影響では、自然災害の恐ろしさをあらためて感じました。そのような中、夏休み明けに子供たちがそろって2学期の始業式を迎えられたことを大変うれしく思うとともに、ご家庭でのご協力に深く感謝申し上げます。

2学期は、1年間の中で最も授業日数が多い学期であるとともに、多くの行事の実施も予定されています。特に今年度の運動会については、取組や内容を一部見直して実施する予定です。現在準備を進めておりますが、例えば、①午前中開催とし、終了後下校すること、②競技については決審することなど、コロナ禍以前の取組のよさも大切にしながら、これからの運動会の在り方を踏まえて検討を重ねているところです。ただ本校では、コロナ禍前の運動会の取組を実

際に経験している教職員がいない状況でもあります。だからこそ、これまでをそのまま踏襲するのではなく、子供たちにとってよりよい形を模索しながら、新しい時代に合った学校行事をつくっていくことが大切だと考えています。

『現状打破』…小さな変化を積み重ね、それを大きな前進につなげていくために、本校では新しい学校様式に沿った教育活動を実践してまいります。

【お互い切磋琢磨して】

今日の始業式では、子供たちに2学期のキーワードとして「よい競い合い」について話しました。学校生活の中には、スポーツをはじめ、勝負をしたり勝敗がついたりする場面が少なからずあります。もちろん勝つことはうれしいことですが、負けたことを受け入れ、相手を称賛すること、そして「次は勝ちたい」「前よりよい結果を出したい」と願って努力したり、改善の方法を考えたりすることもまた、大切な学びです。そのような積み重ねが、これからの自分自身を高めていくことにつながると考えています。校長として、子供たち一人一人が伸び、成長していく過程を大いに期待しています。

2学期は、ねらいや目標の持ち方によって、挑戦したり競い合ったりする場面がたくさんあります。子供たちには、思い切って一步を踏み出してほしいと願っています。長丁場の2学期となりますが、引き続きご理解とご支援のほど、よろしく願いいたします。

夏季休業中でも、教職員は指導力・資質向上として、個々のキャリアステージにあった研修はもちろんのこと、校内でも数多くの研修・研究を行っていました。2学期の教育活動に生かせるよう実践してまいります。



「対話的な学び」



「生成AIの活用」



「体育実技伝達」